

Sports Fukushima

スポーツふくしま

39
2018.03

 (公財)福島県体育協会 〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971



みんなでスポーツを!
Let's play sports together!

巻頭言

東京2020オリンピック・パラリンピックへの期待と 生涯スポーツへの参加を！

東京2020オリンピック・パラリンピックまで、あと2年となってきました。東京で開催されるのは2度目の事です。

今から54年前の1964年、東京オリンピックが開催されました。その時は日本にとって、世界へ戦後の復興をアピールする絶好の機会でした。多くの日本選手がメダルをとり、日本中が湧き返りました。その年の流行語には体操競技の「ウルトラC」、バレーボール競技の「東洋の魔女」、重量挙げ競技三宅義信選手の「小さな巨人」などがあり、大変盛り上がったものです。そんな中、陸上競技で唯一国立競技場に日の丸を掲げた選手が、福島県須賀川市出身の「円谷幸吉選手」でした。メダルの色は銅でしたが「日本陸上界の救世主」などとも呼ばれ、一躍時の人として、世界からも注目される人物となります。

須賀川市は私の故郷でもあります。須賀川アリーナに併設されている「円谷幸吉メモリアルホール」には、オリンピックで使用したシューズやユニフォーム、そしてその時の銅メダル等々、また、円谷選手の人となり分かる手紙などが展示・保管されています。ぜひ、多くの皆様にご覧いただき、来たる2020年に向けて想いを馳せてほしいと思います。

ところで、1964年東京オリンピックの開催時、円谷選手は自衛隊体育学校の所属でした。今から2年前に、須賀川市に自衛隊体育学校の校長先生が来られた際に「あの時、ウエイトリフティングの三宅選手とマラソンの円谷選手が居なかったら、今の体育学校は存在していないと思います。」と話されていました。ウエイトリフティングで金メダルを取った三宅選手もまた、自衛隊体育学校に所属していました。

円谷選手は、東京オリンピック終了後、次のメキシコオリンピックに向け、練習を重ねていましたが、度重なる怪我に悩まされ、遂に、メキシコオリンピックを断念せざるを得ませんでした。責任感の強い彼は、国民の期待に沿えないと、自らの命を絶ってしまいます。大変残念な出来事として記憶に残っております。

しかし、今年のニューイヤー駅伝での遠藤日向選手

や箱根駅伝での相澤晃選手などの本県出身者の活躍を見ますと、円谷選手のDNAを脈々と受け継ぎながら、陸上王国福島を目指して確実に成長しているのを実感します。

さて、昨今、どこの市町村でも聞かれております「生涯学習」と「生涯スポーツ」ですが、ひとことで言うなら、生涯学習はその名のとおり、いつでもいろいろなことを学習しよう、一生生涯ぼうということ。生涯スポーツも同じで、小さい子供さんから年を重ねた年代まで、スポーツに関わっていきこうということです。

スポーツには「する・みる・ささえる」スポーツがあります。

「するスポーツ」は、興味を持ったスポーツにチャレンジしたり、続けていたスポーツを更に向上させたり、仲間づくりにも役立つだろうと思います。

「みるスポーツ」は、まずはいろいろなスポーツを観て好きなスポーツに興味を持つことが大事です。そこから「やってみよう」のころが、芽生え易くなると思います。

「ささえるスポーツ」は、選手を応援することから支えるにつながると思います。また、大会運営やサポートを行うスポーツボランティア、スポーツ施設の環境整備や選手のサポート等々、有り余るほど役割があります。

これらについては、生涯スポーツをかみ砕いて考えた、私の主観を記述しました。

結びに、県民の皆さん全員が「する・みる・ささえる」スポーツに携われるようお願いしたいと思います。若い世代の皆さんがスポーツ好きになり、そして熟年世代の皆さんには、スポーツにより健康で長生きの生活を送ってほしいと願っております。東京2020オリンピック・パラリンピックを2年後に控えた今、福島県が震災・原発事故からの復興をアピールする絶好のチャンスです。福島県から多くの選手がオリンピック・パラリンピックに出場され、より多くの指導者とスポーツボランティアの皆さんが、選手のサポートに携われるように願っております。



公益財団法人福島県体育協会
副会長 安藤 喜勝

- P1 巻頭言
- P2 第73回 国民体育大会冬季大会成績
- P3 第73回 国民体育大会冬季大会活躍選手と監督の寄稿
- P5 平成29年度 公益財団法人福島県体育協会 表彰式
- P7 平成29年度うつくしまスポーツキッズ発掘事業
- P9 ふくしまゴルフプロジェクト・ふくしまラグビー交流事業 (今年度スタートした新規事業)
- P10 公益財団法人都道府県体育協会公認指導員養成講習会 スポーツ医事・トレーニング相談事業 インフォメーション
- P11 平成29年度 都道府県スポーツ指導者研修会 アンチ・ドーピング教育・啓発事業 インフォメーション
- P12 第2回フォローアップセミナー
- P13 特定非営利活動法人ただみコミュニティクラブ
- P14 賛助会員名簿・編集後記

【表紙写真説明】
第73回 国民体育大会冬季大会(写真提供:福島民友新聞掲載)
右:クロスカントリースキー競技(金丸富男選手)
左上:スケート競技(秋山光希選手)
ふくしまゴルフプロジェクト
左中央:スナッグゴルフ教室
ふくしまラグビー交流事業
左下:ラグビー出前講座

第73回 国民体育大会冬季大会成績

1 参加状況

大会	区分	会期	開催地	団長	参加競技数	派遣人数			
						役員	監督	選手	合計
冬季大会	スケート競技会	H30.1/27(土) ~2/1(木)	山梨県 富士吉田市	佐藤 憲保	2	5	1	16	22
	神奈川県 横浜市		5			3	24	32	
	スキー競技会	H30.2/25(日) ~2/28(水)	新潟県 妙高市	鈴木 安一	1	9	9	41	59

2 競技成績

大会	区分	天皇杯				皇后杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順位	競技得点	参加得点	得点合計	順位
スケート競技会		16点	10点	26点	21位	10点	10点	20点	20位
アイスホッケー競技会		0点	10点	10点	12位	-	-	-	-
スキー競技会		5点	10点	15点	16位	0点	10点	10点	16位
合計		21点	30点	51点	25位	10点	20点	30点	23位

3 入賞状況

◆スケート競技 競技得点 16点 天皇杯 21位 皇后杯 20位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	スピード 1000m	3	6	渡邊 晟	山梨学院大学 4年
	スピード 1500m	6	3	秋山 光希	郡山商業高等学校 2年
少年女子	スピード 1500m	7	2	安田 彩夏	郡山商業高等学校 1年
	スピード 3000m	8	1	秋山 光希	郡山商業高等学校 2年
	スピード 2000mR	5	4	木田 綾音	郡山商業高等学校 3年
		増子 楓佳	郡山商業高等学校 3年		
		遠藤 眞夏	郡山商業高等学校 1年		
		秋山 光希	郡山商業高等学校 2年		

◆スキー競技 競技得点 5点 天皇杯 16位 皇后杯 16位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子C	クロスカントリー	4	5	金丸 富男	NPO法人かなまるオールアスリートクラブ



アイスホッケー競技結団式



スケート競技結団式



アルペン・ジャンプ・コンバインド競技結団式



クロスカントリースキー競技結団式

第73回国民体育大会冬季大会スケート競技会を振り返って

スケート競技監督 黒澤 政弘

今年の山梨県富士吉田市で開催された国体では、渡邊 晟（山梨学院大学4年）1000m3位、秋山光希（郡山商業高校2年）1500m6位、3000m8位、安田彩夏（郡山商業高校1年）1500m7位、3000m12位、少年女子2000mリレーでは、過去最高順位となる5位入賞を果たしました。

今年度は特に春からのトレーニングに、氷上合宿を多く取り入れてきました。その理由は、今日に至るまで取り組んできた、国内の強豪校との合同合宿や、韓国における金メダリストとの合宿に参加するなど、様々な環境でのトレーニングを取り入れ、選手一人一人の基礎体力が十分に備わってきたからです。

スケート競技は、技術7割体力3割と言われるほど技術が重視されています。技術を磨くには陸上ではなく氷上練習が一番であり、スケートのエッジから氷へ効率的に力を伝えていけるかがポイントになります。具体的には、選手自身の感覚の中で、軸を作り、エッジで氷を掴みながらサイドへ押し、推進力を生みだしていくことなのです。この様な氷上練習を繰り返して身につけてきたことが、今年度の成績へ繋がったと思います。

また、小学生から成年まで幅広く強化することで、小中高生は大学生や社会人から技術を学ぶことができました。練習環境が整ったことが福島県選手の競技力の底上げに繋がったと考えております。これは、福島県体育協会、福島県スケート連盟、強化部、長尾トレーナーが一枚岩となり取り組んできたこの10年間の成果であり、ここに花開いたことはこの上ない喜びです。今後も関係機関と連携しながら、次年度の国体に繋げていきたいと思っております。

最後に、選手を支えて下さった皆様、応援して下さいました皆様に感謝申し上げます。

福島県の皆様に元気を、そして全国に元気な福島を届けられるよう、引き続き精進してまいります。



少年女子2000mリレーで5位入賞した
(左から)秋山光希、遠藤真夏、増子楓佳、木田綾音
(写真:福島民友新聞掲載)

山梨国体を終えて

スピードスケート競技 山梨学院大学4年 渡邊 晟

今年度の国民体育大会は私が学生として出場する最後の大会でした。昨年度の長野国体では、3種目入賞を果たしたことで、今までやってきた事が成果として現れ、福島県の期待に応えることができたことと実感した大会でした。今年度の国民体育大会に参加するにあたり『今年も入賞して福島県に貢献したい』という強い気持ちを持ちレースに臨みました。

私は、成年男子1000mと1500m、2000mリレーの3種目に出場し、1500mと2000mリレーの2種目は悔しくも予選敗退という結果でした。しかし、1000mは過去最高の3位入賞を果たすことができました。この3位入賞を成し遂げた事、また少年種別が結果を残す事ができたのは、自分一人の力ではありません。福島県体育協会や福島県スケート連盟、指導して下さった先生方、長尾トレーナー、家族など、様々な人の支えや応援があったからです。心から感謝しています。福島県選手団として今年度も福島県に貢献できたことを誇りに、来年度に向け日々精進していきたいと思っております。これからも福島県の方々への感謝の気持ちを忘れずに、選手一同、福島県スピードスケートの競技力向上を目指し、来年度の国民体育大会に繋がってきたいと思っております。

来年度からは福島県に戻り就職します。社会人として地域に貢献しながら、福島県スピードスケート競技を盛り上げていきます。今までお世話になった方への恩返しとなるよう頑張りたいと思っておりますので、応援よろしくお祈りいたします。



(写真:福島民友新聞掲載)

『ふるさと選手』としての国体参戦を振り返って

スキー競技 NPO法人かなまるオールアスリートクラブ 金丸 富男

私は過去に、クロスカンリースキー競技で、何度となく国体に出場し、2度の優勝を含む数回の入賞をしてきました。しかし、過去の国体参戦は、所属する他県の会社所在地からの出場であり、福島県代表として国体参戦を果たせずに、現役を引退しておりました。現在は、秋田県の会社に勤務し会社員をしておりますので、本来であれば秋田県代表として国体参戦すべきですが、上述した内容を現所属の会社関係者に御理解いただき、今回、福島県からの国体参戦が可能となりました。

元々、福島県耶麻郡猪苗代町の出身であり、福島県には強い愛県心を持っており、「いつかは福島代表で国体を走りたい」と思っておりましたので、今回、「第73回国民体育大会冬季大会スキー競技会」に成年男子Cで、ふるさと選手として参加する機会を与えていただきましたことは、大変光栄でありました。

参戦するに当たり、引退後8年間のブランクがあり、正直不安で一杯でしたが、福島県のチーム力の高さもあり、ストレス無く参戦させていただき、結果として4位入賞を果たすことができました。微力ながら福島県に貢献できたことを、自身としても嬉しく思いますし、来年以降も私の体力が続く限り、福島県代表として参戦をさせていただければと思います。また、今後は、更に上位を目指して自身の『心・技・体』向上に努め、精進していきたいと思っておりますので、引続きの皆様温かい御声援をお願いします。

最後に、私の国体参戦に当たり、諸調整をいただきました、公益財団法人福島県体育協会、福島県スキー連盟、そして、一緒に参戦した全ての役員の皆様、選手の皆様に感謝申し上げ、今後益々、福島県のチーム力向上を願ひまして、本国体参戦の寄稿文とさせていただきます。



アイスホッケー



クロスカンリースキー少年男子



クロスカンリースキー女子



秋山光希選手(左)・安田彩夏選手(右)



大嶋 柚選手



長谷部宏仁選手



渡部大輝選手



中丸雄哉選手

(写真:福島民友新聞掲載)

平成29年度 公益財団法人福島県体育協会 表彰式

平成29年度公益財団法人福島県体育協会表彰式は11月28日に福島市のウエディングエルティにて執り行われました。式では各賞ごとに受賞者の呼名後、内堀雅雄名誉会長、須佐喜夫会長より代表者に表彰状が授与されました。受賞者を代表して特別賞を受賞された皆川博恵(旧姓鈴木)さん(レスリング)より謝辞がありました。

表彰式終了後には懇談会が開催され、内堀名誉会長、須佐会長が各テーブルを回り出席された皆様と親しく懇談されました。

今年度の受賞者名簿は下記のとおりです。(敬称省略)

スポーツ功労賞 多年にわたり、本協会の運営並びに事務遂行に貢献し、本県スポーツの振興に功績のあった方々

- 佐藤 良子(県中地域連合会)
- 増子 トキ(バドミントン)
- 佐竹 重男(なぎなた)
- 櫻井 和朋(県南地域連合会)
- 木村 弘(ソフトボール)
- 斎藤 正義(綱引)
- 玉川 武(会津地域連合会)
- 渡辺 正昭(ウエイトリフティング)
- 熊田 洋子(福島県障がい者スポーツ協会)
- 雨澤 哲弘(卓球)

優秀選手賞(個人) 本県を代表して全国大会に出場し優れた成績を収めた選手及び国際大会に出場した選手

- | | | |
|---|--|--|
| <p style="text-align: center;">陸上競技</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 武石この美(株)東邦銀行 ● 紫村 仁美(株)東邦銀行 ● 青木沙弥佳(株)東邦銀行 ● 佐藤 若菜(株)東邦銀行 ● 渡部 佳朗(城西大学3年) ● 山下 潤(筑波大学2年) ● 吉田 惇(東海大学4年) ● 田母神一喜(中央大学2年) ● 半澤 黎斗(学校法人石川高等学校3年) ● 山内 大夢(会津高等学校3年) ● 鈴木 瑛人(一箕小学校6年) ● 筋内 光斗(船引小学校6年) ● 成田 朱里(福島大TC・須賀川市立第一小学校6年) ● 佐藤 皓人(日大東北高等学校3年) ● 藤宮 歩(大槻中学校2年) ● 中野 胡桃(西沢中学校3年) ● 三科 文(白郷第一中学校1年) <p style="text-align: center;">ソフトテニス</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大槻 麗(住友ゴム工業(株)白河工場) ● 小谷菜津美(住友ゴム工業(株)白河工場) <p style="text-align: center;">卓球</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 岩永 宜久(帝京安積高等学校2年) ● 伊東みらい(小名浜第一中学校2年) <p style="text-align: center;">自転車競技</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 橋本 壮史(中央大学4年) ● 角田 光(白河実業高等学校3年) ● 石井 洋輝(白河実業高等学校3年) ● 大高 彰馬(白河実業高等学校3年) ● 渡邊 歩(株)シクリズムジャパン) <p style="text-align: center;">バスケットボール</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 半澤 凌太(福島南高等学校3年) <p style="text-align: center;">バドミントン</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 山川美佐江(福島県バドミントン協会) ● 吉田 邦男(ゼビオ(株)) ● 佐久間文子(福島県バドミントン協会) ● 金子 真大(ふたば未来学園高等学校3年) ● 久保田友之祐(ふたば未来学園高等学校3年) ● 筑後 恵太(ふたば未来学園高等学校3年) ● 山田 尚輝(ふたば未来学園高等学校3年) ● 高橋明日香(ふたば未来学園高等学校3年) ● 由良なぎさ(ふたば未来学園高等学校3年) ● 内山 智尋(ふたば未来学園高等学校1年) ● 水井ひらり(ふたば未来学園高等学校2年) ● 武井 凜生(富岡第一中学校2年) ● 斉藤 駿(富岡第一中学校1年) ● 杉山 薫(富岡第一中学校2年) ● 小野 涼奈(富岡第一中学校2年) <p style="text-align: center;">ボクシング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 村上 真統(拓殖大学3年) ● 遠藤 広大(ハツ橋設備(株)) <p style="text-align: center;">柔道</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 瀧澤 秀斗(田村高等学校3年) ● 杉山 海(田村高等学校3年) | <p style="text-align: center;">弓道</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 吉田 陽太(会津学鳳中学校3年) <p style="text-align: center;">体操</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 田中 涼介(華舞翔新体操倶楽部・喜多方市立第二中学校3年) <p style="text-align: center;">スキー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 宮本 珠里(チームリステル・水戸第二高等学校1年) ● 鈴木 猛史(KYB(株)) ● 佐藤 瞳(チームリステル) ● 西沢 岳人(チームリステル・会津学鳳高等学校3年) ● 遠藤 尚((株)忍建設スキー部) ● 星野 純子(チームリステル) ● 渡部 剛弘((株)ガリウム) <p style="text-align: center;">スケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 渡邊 晟(山梨学院大学4年) <p style="text-align: center;">馬術</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 杉本 瑞生(御殿場西高等学校3年) <p style="text-align: center;">ウエイトリフティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今野 金哉(福島県ウエイトリフティング協会) ● 高野 滋(福島県ウエイトリフティング協会) ● 大内 俊幸((有)丸中建設) ● 清野 裕司(福島明成高等学校(教)) ● 吉田 真弘(デイスーパーサービスセンターいしかわ) ● 近内 三孝(日本大学4年) ● 青木 智也(日本大学2年) ● 穴戸 大輔(日本大学1年) ● 清水 峻雅(福島工業高等学校3年) ● 佐野 裕作(平工業高等学校3年) ● 鈴木 あみ(田村高等学校3年) ● 安藤 千鈴(田村高等学校2年) <p style="text-align: center;">レスリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 皆川 博恵(クリナップ(株)) ● 河名真寿斗(クリナップ(株)) ● 星 寛斗(田島高等学校3年) ● 湯田 広章(男山造) <p style="text-align: center;">フェンシング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高橋 七美(日本体育大学1年) ● 佐々木陽菜(早稲田大学3年) ● 高橋 恋(日本大学2年) ● 平山 裕汰(川俣中学校3年) ● 佐藤 彰太(愛知工業大学3年) <p style="text-align: center;">銃剣道</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 山口あやこ(陸上自衛隊高射学校) ● 軽部久美子(陸上自衛隊第6特科連隊) ● 中川 誉久(須賀川高等学校3年) <p style="text-align: center;">アーチェリー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 三瓶 詩織(福島第二中学校3年) <p style="text-align: center;">なぎなた</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 菅原比呂美(ゼビオ(株)) ● 大竹 葵(会津若松ザペリオ学園高等学校(教)) ● 齋藤 俊慧(会津学鳳高等学校3年) ● 渡部 悠雅(会津学鳳高等学校3年) ● 古舘 佳樹(葵高等学校2年) ● 木村充穂子(会津若松市立第二中学校3年) ● 石井 結衣(会津若松市立第二中学校3年) | <p style="text-align: center;">なぎなた</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 栗城 奈実(会津若松ザペリオ学園中学校3年) ● 伊藤 愛子(会津若松ザペリオ学園中学校3年) ● 物江 葵(会津学鳳中学校3年) ● 永井 吉穂(会津学鳳中学校2年) ● 渡邊さくら(会津若松市立第四中学校3年) ● 菊地 詩織(会津若松市立第四中学校3年) ● 小林 加奈(会津学鳳中学校2年) ● 小林 加歩(会津学鳳中学校2年) ● 渡邊 奏海(会津学鳳中学校3年) ● 二瓶 陽菜(会津学鳳中学校3年) <p style="text-align: center;">ボウリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鈴木 英子(日立オートモティブシステムズ(株)福島事業部) <p style="text-align: center;">ゴルフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 蛭田 玲於(東北福祉大学4年) <p style="text-align: center;">カヌー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小山田香貴(東和中学校3年) ● 青木 瑞樹(二本松第一中学校3年) ● 鈴木 康大((株)久野製作所) ● 小久保南海(日本体育大学2年) <p style="text-align: center;">ダンススポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 野地 雅人(福島工業高等学校3年) <p style="text-align: center;">トライアスロン</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 長正 憲武(福島高等学校3年) ● 菊池日出子(NPO法人わトライアスロンアカデミー福島) <p style="text-align: center;">スポーツチャンバラ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 園部 夏希(勿来第二小学校4年) ● 西山 涼太(勿来第三小学校6年) <p style="text-align: center;">福島県高等学校体育連盟</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 室井 寧々(郡山萌世高等学校通信制2年) <p style="text-align: center;">福島県中学校体育連盟</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大河原萌花(矢吹中学校1年) ● 北野 敦貴(西郷第一中学校3年) ● 星 虎太郎(西郷第一中学校3年) ● 山下 啓輔(猪苗代中学校3年) ● 武井 凜生(猪苗代中学校2年) ● 稲光翔太郎(猪苗代中学校3年) ● 末永 逸貴(猪苗代中学校3年) ● 杉浦 壮哉(猪苗代中学校3年) ● 廣上 瑠依(猪苗代中学校3年) ● 山浦 波瑠(猪苗代中学校3年) <p style="text-align: center;">福島県障がい者スポーツ協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鈴木 猛史(KYB(株)) ● 佐々木真菜((株)東邦銀行) ● 佐藤 智美((株)東邦銀行) ● 齋藤由希子(SMBC日興証券) ● 半谷 静香(エイベックス(株)) ● 岡部 蘭(JA福島さくら) ● 庭瀬ひかり(須賀川信用金庫) ● 新田 勝士(須賀川支援学校(教)) ● 緑川 秀太(福島パラ陸上競技協会) |
|---|--|--|

優秀選手賞(団体) 本県を代表して全国大会に出場し優れた成績を収めた団体

陸上競技

- 第72回国民体育大会陸上競技会 成年少年女子共通4×100mR 福島県
- 第65回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 女子4×100mR 東邦銀行
- 第65回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 団体総合 東邦銀行
- 第65回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 女子団体総合 東邦銀行
- 東邦カップ第6回ふくしまリレー Mix 4×400mR (日本最高記録) 福島選抜A
- 第101回日本陸上競技選手権リレー競技大会 女子4×400mR 東邦銀行

軟式野球

- 第39回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会 相馬東部スポーツ少年団

ソフトテニス

- 第72回国民体育大会ソフトテニス競技 成年女子 福島県
- 第61回全日本実業団ソフトテニス選手権大会 ダンロップ

自転車競技

- 平成29年度全国高等学校総合体育大会自転車競技大会 4kmチームパーシュート 白河実業高等学校自転車競技部
- 平成29年度全国高等学校総合体育大会自転車競技大会 学校対抗総合 白河実業高等学校自転車競技部
- 第72回国民体育大会自転車競技会 男子 チーム・スプリント 福島県

バドミントン

- 第72回国民体育大会バドミントン競技 成年男子 福島県
- 平成29年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技 男子学校対抗 ふたば未来学園高等学校男子バドミントン部
- 平成28年度第45回全国高等学校選抜バドミントン大会 男子学校対抗 ふたば未来学園高等学校男子バドミントン部
- 平成29年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技 女子学校対抗 ふたば未来学園高等学校女子バドミントン部
- 平成28年度第45回全国高等学校選抜バドミントン大会 女子学校対抗 ふたば未来学園高等学校女子バドミントン部

弓道

- 第72回国民体育大会弓道競技 少年男子 近的 福島県

ラグビーフットボール

- 第13回サントリーカップ全国小学生ラグビー選手権大会決勝大会 安達ラグビークラブ

馬術

- 第72回国民体育大会馬術競技 少年 団体障害飛越競技 福島県

ウエイトリフティング

- 平成28年度第8回全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会 団体対抗選手権 田村高等学校
- 平成29年度第19回全国高等学校女子ウエイトリフティング選手権大会 学校対抗選手権 田村高等学校

銃剣道

- 第16回全日本短剣道大会 団体戦成年 第44普通科連隊
- 第16回全日本短剣道大会 団体戦女子 郡山

なぎなた

- JOCジュニアオリンピックカップ第25回全国中学生なぎなた大会 試合競技(団体) 会津なぎなた連盟

ボウリング

- 第72回国民体育大会ボウリング競技 成年女子 4人チーム戦 福島県

綱引

- 2017全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会 ジュニア320kg以下の部 木幡べんてんジュニア綱引クラブ
- 福島県中学校体育連盟

- 平成29年度全国中学校体育大会バドミントン競技 男子団体 猪苗代中学校男子バドミントン部
- 平成29年度全国中学校体育大会バドミントン競技 女子団体 猪苗代中学校女子バドミントン部

優秀指導者賞 優秀選手の育成に直接貢献した指導者

- 陸上競技 ●川本 和久 福島大学(東邦銀行)
- 陸上競技 ●菊田 明博 福島大学トラッククラブ
- 陸上競技 ●雪下 良治 会津学鳳高等学校
- ソフトテニス ●大槻 三喜 (株)SRIビジネスアソシエイツ
- 自転車競技 ●班目真紀夫 白河実業高等学校
- 自転車競技 ●矢吹 靖弘 学校法人石川高等学校
- バドミントン ●渡部 訓生 勿来工業高等学校
- バドミントン ●本多 裕樹 ふたば未来学園高等学校
- バドミントン ●星 大智 ふたば未来学園高等学校
- 弓道 ●杉田 一馬 田島高等学校
- 体操 ●山田 智史 華舞翔新体操倶楽部

- ウエイトリフティング ●鈴木 宗徹 田村高等学校
- ウエイトリフティング ●金子 和央 福島医療専門学校
- 銃剣道 ●肥塚 克典 陸上自衛隊第6特科連隊
- なぎなた ●武藤小夜子 会津学鳳中学校
- なぎなた ●大竹 葵 会津若松ザペリオ学園高等学校
- ボウリング ●伊藤 寛 福島県ボウリング連盟
- 綱引 ●齋藤 慶司 木幡べんてんジュニア綱引クラブ
- トリアスロン ●蓮沼 哲哉 福島大学
- スポーツチャンバラ ●小島 宏信 大道館 元気塾
- 福島県中学校体育連盟 ●齋藤 巨 猪苗代中学校

社会優良団体賞 地域・職域のクラブとしての活動を通して、本県の地域スポーツ振興に功績のあった団体

- 福島市障害者スポーツ協会

特別賞 国民体育大会の競技別優勝や世界大会で特に顕著な活躍をした団体・個人

- 山下 潤 筑波大学
- 金子 真大・久保田友之祐 ふたば未来学園高等学校3年
- ふたば未来学園高等学校 バドミントン部
- 吉田 真弘 デイサービスセンターいしかわ
- 皆川 博恵 クリナップ(株)
- 河名真寿斗 クリナップ(株)
- 半谷 静香 エイベックス(株)
- 鈴木 猛史 KYB(株)



謝辞
皆川 博恵選手



スポーツ功労賞
佐竹 重男氏



優秀選手賞個人
柴村 仁美選手



優秀選手賞団体
ふたば未来学園高校バドミントン部(代表 廣澤紫穂選手)



優秀指導者賞
杉田 一馬氏



社会体育優良団体賞
福島市障害者スポーツ協会(代表 武藤永治氏)



特別賞
皆川 博恵選手



特別賞
ふたば未来学園高校バドミントン部(代表 永井雅秀選手)



特別賞
吉田 真弘選手



特別賞
河名真寿斗選手(代理 今村浩之氏)



特別賞
半谷 静香選手

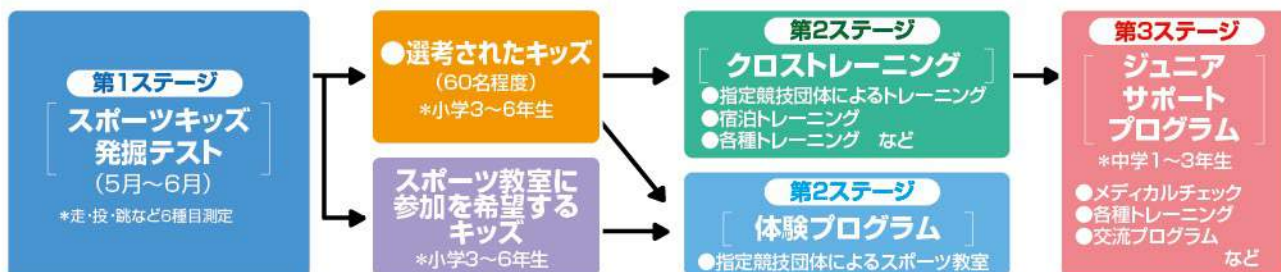


～東日本大震災復興支援財団支援事業 福島県スポーツ振興基金 ふくしまスポーツキッズ活動支援事業～

平成29年度うつくしまスポーツキッズ発掘事業

将来有望な人材の発掘・確保・育成を目的として「スポーツが大好き」「なにかスポーツをやってみよう」という小学生を対象に、自分に合った種目や興味のあるスポーツに出会い、夢や希望をもってスポーツに取り組むことができるよう支援をしています。また、昨年度までに選考された中学生対象のジュニアサポートプログラムも実施しています。

事業の流れ



第1ステージ◆発掘テスト◆

第1ステージうつくしまスポーツキッズ発掘テストは、5月～6月にかけて県内の小学3年生～6年生を対象に、福島県内5会場で実施しました。県内すべての小学校に募集したところ、370名のキッズの応募があり、各会場で元気に参加してくれました。60名が選考され、第2ステージに進みました。

●スポーツキッズ発掘テストの内容(6種目実施)

- 25m走 ●全身反応テスト
- 反復横跳び ●四方向ステップ
- 立ち五段跳び ●膝立ちボール投げ



●テスト会場・実施日・参加人数

開催地区	実施日	会場	時間帯	参加人数	備考
いわき会場	5月27日(土)	いわき市立総合体育館	午後	72名	
会津会場	5月28日(日)	河東総合体育館	午後	55名	2部制で実施
県南会場	6月10日(土)	須賀川アリーナ	午前 午後	76名 53名	
相双会場	6月11日(日)	南相馬市スポーツセンター	午後	14名	
県北会場	6月17日(土)	城山第二体育館	午前 午後	47名 53名	2部制で実施
1回の定員100名とし、5会場7回の実施				合計	370名

第2ステージ◆クロストレーニング◆

第2ステージに選考されたキッズたちは、本協会と競技団体が連携して実施するクロストレーニングに参加しました。8月の開始式・コーディネーショントレーニングから活動がはじまり、12月の宿泊トレーニング・スプリントトレーニング・修了式までの全9回を行いました。

各トレーニングは、今まで体験したことのない競技に触れる機会が多く、キッズたちは目を輝かせて活動していました。それぞれのトレーニングから得た経験を、今後の活動に活かしてほしいと願っています。

日程	種目	主管団体	会場
8月26日(土)	開始式・コーディネーション	県体協(外部指導者招聘)	安積総合学習センター(郡山市)
9月 3日(日)	●カヌー	福島県カヌー協会	阿武隈漕艇場(二本松市)
9月10日(日)	●バドミントン	福島県バドミントン協会	猪苗代総合体育館(猪苗代町)
10月 1日(日)	●ボート	福島県ボート協会	福島県宮萩野漕艇場(喜多方市)
10月15日(日)	●レスリング	福島県レスリング協会	クリナップ井上記念体育館(いわき市)
10月22日(日)	●トライアスロン	福島県トライアスロン協会	あづま総合運動公園(福島市)
10月29日(日)	●体操・トランポリン	福島県体操協会	日本大学東北高校(郡山市)
11月 5日(日)	●バスケットボール	福島県バスケットボール協会	田村市立大越小学校(田村市)
12月16日(土) ～17日(日)	●フェンシング 宿泊トレーニング・スプリントトレーニング	福島県フェンシング協会 県体協(外部指導者招聘)	あづま総合体育館・宿泊棟(福島市)
12月17日(日)	修了式	県体協	あづま総合体育館(福島市)



第2ステージ◆体験プログラム◆

クロストレーニングとは別に、小学3年生～6年生までを対象に、競技団体主催の体験教室を実施しました。どの体験プログラムも、参加した子供たちの生き生きとした表情が大変印象的でした。多くの子供たちに体験してほしいと思います。

日 程	種 目	主管団体	会 場
7月17日(月)	セーリング	福島県セーリング連盟	いわきサンマリーナ(いわき市)
7月22日(土)	テニス	福島県テニス協会	白沢庭球場(二本松市)
8月 6日(日)	トライアスロン	福島県トライアスロン協会	あづま総合運動公園(福島市)
9月23日(土)	水泳(シンクロ)	福島県水泳連盟	古殿町民プール(古殿町)
9月23日(土)	体操・トランポリン	福島県体操協会	いわきラビット体操クラブ(いわき市)
10月 1日(日)	ホッケー	福島県ホッケー協会	ルネサンス棚倉(棚倉町)
10月21日(土)	銃剣道	福島県銃剣道連盟	福島市西部体育館(福島市)
10月28日(土)	ウエイトリフティング	福島県ウエイトリフティング協会	のんびり温泉「三宅道場」(郡山市)
11月 3日(金)	アイスホッケー	福島県アイスホッケー連盟	磐梯熱海アイスアリーナ(郡山市)
11月 5日(日)	アーチェリー	福島県アーチェリー協会	福島県青少年会館体育館(福島市)
11月18日(土)	相撲	福島県相撲連盟	学法福島高校相撲場(福島市)
11月25日(土)	ボクシング	福島県ボクシング連盟	磐城緑蔭高校(いわき市)
12月 3日(日)	スケート	福島県スケート連盟	磐梯熱海アイスアリーナ(郡山市)



テニス



相撲



銃剣道



ボクシング



アイスホッケー

第3ステージ◆ジュニアサポートプログラム◆

平成28年度までに選考された中学1年生～中学3年生までのジュニア28名を対象に、基礎運動能力の向上を主としたプログラムを実施しました。メディカルチェックやボディケア講習、メンタルトレーニングなどを実施しました。

交流プログラムでは、1日目は、陸上競技の高平慎士さんと秋本真吾さんから講演とトレーニング指導をしていただきました。オリンピックからの直接指導に緊張しながらも、さまざまなことを吸収しようと熱心に指導を受けていました。2日目は、日本大学文理学部キャンパスにて、東京都体育協会が選考するジュニアとの交流をはじめ、シンクロ競技の三井梨紗子さんとの交流の場を設けていただきました。同世代選手やトップアスリートとの交流は、ジュニアにとって目的意識を高める有意義な時間となりました。



メディカルチェック



ボディケア講習



コーディネーション
トレーニング



メンタルトレーニング



交流プログラム

日 程	種 目	主管団体	会 場
6月 4日(日)	第1回メディカルチェック①	県体協 (ARCクリニック)	ARCクリニック(福島市)
6月25日(日)	第1回メディカルチェック②	県体協 (ARCクリニック)	ARCクリニック(福島市)
8月26日(土)	開始式・運動処方	県体協 (外部指導者招聘)	安積総合学習センター(郡山市)
10月15日(日)	コーディネーショントレーニング	県体協 (外部指導者招聘)	ふるさとの森スポーツパーク体育館(郡山市)
11月12日(日)	第2回メディカルチェック①	県体協 (ARCクリニック)	ARCクリニック(福島市)
11月26日(日)	第2回メディカルチェック②	県体協 (ARCクリニック)	ARCクリニック(福島市)
12月 2日(土) ～3日(日)	交流プログラム	県体協 (外部指導者招聘)	東京都内
12月17日(日)	メンタルトレーニング	県体協 (外部指導者招聘)	あづま総合運動公園・研修室(福島市)
12月17日(日)	修了式	県体協	あづま総合体育館(福島市)



ふくしまゴルフプロジェクト

全国でも有数のゴルフ場を有する福島県として地域資源を有効活用し、ゴルフの競技力向上とゴルフ人口の裾野拡大を目指し、LPGA(日本女子プロゴルフ協会)と連携しながら、栗西鈴香氏を講師に「ゴルフに触れる機会の創出」、「ゴルフ指導者の育成」、「競技力の向上」の視点から新規事業としてスタートしました。

高校ゴルフ出前講座

高校生を対象にジュニア期の競技力向上とゴルフに触れる機会の創出を通して裾野拡大をめざし、今年度は安達高校、田村高校、光南高校の3校へ栗西コーチを派遣し、授業の一環として生徒がゴルフの体験をしました。



スナッグゴルフ体験(光南高校)



烏山ゴルフガーデンでの練習(安達高校)



大玉CCでのラウンド実習(田村高校)



白河市立白河第一小学校



棚倉町立高野小学校



西郷村立羽太小学校

スナッグゴルフ教室

ジュニア期からゴルフに触れる機会を創出し、ゴルフ人口の裾野拡大を図ることを目的として、県南管内の小学校を対象にスナッグゴルフ教室が開催されました。今年度は、白河市立白河第一小学校、棚倉町立高野小学校、西郷村立羽太小学校の3校でたくさんの小学生がスナッグゴルフを楽しむことができました。

ジュニアゴルフ塾

ゴルフ経験のある小学生を対象にジュニア期からゴルフのスキルアップを図りながら、本県から優秀なゴルファーを輩出し、ゴルフ競技の機運醸成につなげていくことを目的にジュニアゴルフ塾が開催されました。今年度は、県南管内の小学生5名が8月から2月までの期間、練習会場を提供してくださったグランディ那須白河ゴルフクラブ、島ゴルフガーデンの御協力をいただきながら、栗西コーチから毎週1~3回のレッスンを受けました。



開講式(グランディ那須白河GC)



打ちっぱなし練習(島ゴルフガーデンにて)



チームビルディング講習(人間力の育成)



今年度のメンバーと講師の先生方(川谷小にて)

指導者養成講習会

授業等でゴルフを指導できる教職員を増やし、ゴルフに対する興味・関心を深めることで、本県ゴルフ競技の普及や底辺の拡大を図る目的で、田村高校での県南地区高校教育研究会保健体育部に栗西コーチとLPGA派遣講師を招聘し、スナッグゴルフの講習会を行いました。



基本動作を練習



フルショット練習



アプローチショット練習



パター練習

ふくしまラグビー交流事業

「ワールドカップ2019」や「東京2020オリンピック・パラリンピック」という大規模国際大会の開催を契機とし、ラグビー競技を核とした多様な世代との交流を推進するために、新規事業として「ふくしまラグビー交流事業」を行いました。

タグラグビー出前講座

タグラグビーを通して児童・生徒の体力向上の機会を提供するとともに、本県ラグビー競技の普及や競技人口の拡大につなげる目的で、県内20の小・中学校体育の授業に講師を招聘し、児童・生徒がタグラグビーを体験しました。

日程	学校名
5月31日(水)	天栄村立牧本小学校
6月 3日(土)	いわき秀英中学校
6月 6日(火)	喜多方市立第三小学校
6月 7日(水)	会津若松市立日新小学校
6月 9日(金)	福島市立湯野小学校
6月22日(木)	棚倉町立棚倉小学校
6月26日(月)	鮫川村立鮫川小学校
9月 4日(月)	郡山市立朝日が丘小学校
9月 5日(火)	会津坂下町立坂下東小学校
9月 7日(木)	喜多方市立姥堂小学校
9月22日(金)	伊達市立伊達小学校
10月12日(木)	須賀川市立柏城小学校
10月31日(火)	二本松市立新殿小学校
11月 7日(火)	いわき市立御殿小学校
11月 8日(水)	いわき市立小川小学校
11月 9日(木)	伊達市立栗野小学校
11月15日(水)	矢祭町立矢祭小学校
12月 6日(水)	南相馬市立原町第三小学校
1月11日(木)	田村市立大越中学校
1月18日(木)	福島市立三河台小学校



牧本小学校



喜多方市立第三小学校



朝日が丘小学校



姥堂小学校



御殿小学校

タグラグビー地区別講習会

授業等でタグラグビーを指導できる小学校の教職員を増やし、ラグビーに対する興味・関心を深めることで、本県ラグビー競技の普及や底辺の拡大を図る目的で、県内5管内5地区の小学校教育研究協議会体育部会会場に講師を招聘し、タグラグビーの講習会を行いました。

日程	管内	地区名	実施会場
7月25日(火)	会津	耶麻地区	喜多方市立第二小学校 体育館
7月25日(火)	県中	郡山地区	郡山市立安積第三小学校 体育館
7月25日(火)	県南	東白川地区	瑞町立瑞小学校 体育館
7月26日(水)	相双	双葉地区	田村市立船引小学校 体育館
7月28日(金)	県北	福島地区	福島市立吉井田小学校 体育館



耶麻地区



郡山地区



東白川地区



双葉地区



福島地区

公益財団法人日本体育協会公認指導員養成講習会

今年度は、指導員養成講習会が水泳・弓道・山岳・バドミントン・アイスホッケー・バレーボール・ソフトテニスの7競技において、専門科目講習が県内各地で105名の受講者を集めて実施されました。

「指導員」とは、日本体育協会が進める公認スポーツ指導者制度に基づき、個々人の年齢や性別などの対象に合わせた競技別の技術指導にあたるための資格です。

受講者は、技術指導理論・実技や応急処置など、種目に応じた専門科目を40時間以上受講し、その後検定試験を受けました。今後は、地域のスポーツ指導者として活躍することが期待されます。



水泳



弓道



山岳



アイスホッケー



バドミントン



バレーボール



ソフトテニス

※今年度は福島県では開催されませんが、「上級指導員」の資格取得ができる養成講習会もあります。

「上級指導員」とは日本体育協会が進める公認スポーツ指導者制度に基づき、年齢、競技レベルに応じた競技別の技術指導にあたるとともに、事業計画の立案などのクラブ内指導者の中心的な役割を担う資格です。

スポーツ医事・トレーニング相談事業

この事業では、スポーツ愛好者や選手のけが・病気等に関する相談をはじめ、体力や種目の特性に応じたトレーニング処方を行い、健全なスポーツ活動の推進を図ることを目的として、依頼により相談員・講師を派遣しています。相談員・講師は、本協会のスポーツ医・科学委員、スポーツドクター部会員、アスレティックトレーナー部会員、その他スポーツ医・科学委員会の認めた方が務めています。今年度は、75回開催し、「スポーツと栄養」「体幹トレーニング」「アンチ・ドーピング」「準備運動・クールダウン」等の講義内容の依頼が多くありました。

古殿公民館で行われた事業の様子（一例）

- 依頼団体 FULL SPO
- 講義 「バランスボールを使った体幹トレーニング」
- 講師 二瓶 敦志 氏(ARCクリニック)



インフォメーション

公益財団法人日本体育協会公認指導員養成講習会のお知らせ

日本体育協会では、「公認スポーツ指導者制度」を定め、地域スポーツにおいて、各世代に応じた指導ができ、さらに競技力の向上においてもその知識や技能を発揮できる指導者の育成に力を入れています。平成30年度に本県で開催を予定している競技団体は以下のとおりです。

指導員 水泳・アイスホッケー・山岳

詳細はHPをご覧ください。県体育協会までお問い合わせください。

スポーツ医事・トレーニング相談事業

スポーツ愛好者や選手のけが・病気等に関する相談をはじめ、体力や種目の特性に応じたトレーニング処方を行い、健全なスポーツ活動の推進を図ることを目的としています。

相談員・講師 本協会のスポーツ医・科学委員、スポーツドクター部会員、アスレティックトレーナー部会員、日体協スポーツ栄養士、JADA公認スポーツファーマシスト、その他スポーツ医・科学委員会の認めた相談員・講師を派遣いたします。

申込み・問合せ 申込み、問い合わせの場合は、下記までご連絡ください。

(公財)福島県体育協会 TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971

平成29年度 都道府県スポーツ指導者研修会

福島県スポーツ指導者協議会では、指導者の資質向上と指導活動の充実を図るために、年3回の研修会を実施しています。今年度は第1回を相双ブロック、第2回を県北ブロック、第3回は全県ブロックで開催しました。

第1回相双ブロック・第2回県北ブロック研修会

スポーツ指導方法「スポーツ能力向上の為の動きづくり」 ～健やかなふくしまっ子の動きづくりその指導理論と指導実践～

第1回	期日	平成29年10月15日(日)	期日	平成29年11月26日(日)
	会場	かしま交流センター	会場	飯坂学習センター
	講師	白河市教育委員会指導主事 小野 覚久氏	講師	白河市教育委員会指導主事 小野 覚久氏(写真左) 会津大学短期大学部講師 渡部 琢也氏(写真右)



はじめに、大塚製薬株式会社から、熱中症対策について情報提供がありました。午前中の講義では、小野覚久先生よりコーディネーショントレーニングの必要性、導入方法や実践のポイントについての話がありました。第2回の研修会では、さらに渡部琢也先生が参加し、幼児期の運動指導についての詳しい話がありました。午後からは、コーディネーショントレーニングについて実技講習を行いました。参加者は、今後の指導に活かそうと積極的に体を動かしながら、コーディネーショントレーニングの指導方法を学びました。

第3回全県ブロック研修会

【特別講演】それぞれのライフステージに適した体づくりで健康長寿へ

期日	平成30年1月21日(日)	講師	筑波大学大学院人間総合科学研究科教授 久野 諱也氏
会場	郡山ユラックス熱海		
研究協議	「スポーツ指導者の資質の向上と活躍する場の拡大」		



はじめに、大塚製薬株式会社から、熱中症対策について情報提供がありました。その後、久野諱也氏を講師にお迎えし、「それぞれのライフステージに適した体づくりで健康長寿へ」という演題で、アンケート結果や自らの経験をもとに講話をしていただきました。それぞれのライフステージに合ったスポーツ習慣を身につけることが大切であることや、これから指導者には、健康的な生活を送るための総合的なスポーツ指導が求められることがわかりました。

最後に、「スポーツ指導者の資質の向上と活躍する場の拡大」をテーマにKJ法を使用しながら研究協議を行いました。外部指導者や部活動指導員の活用についてなど、たくさんの意見が出されました。

本講習会には170名の受講者が参加し、真剣に講話を聞き、意欲的に研究協議に取り組んでいました。

アンチ・ドーピング教育・啓発事業

本協会は、スポーツ医・科学委員会と福島県薬剤師会の協力のもと、アンチ・ドーピングに関する啓発活動を実施し、アスリートがフェアプレイ精神のもと競技力を発揮できるように取り組んでいます。

1 東北総体福島県選手団監督会議での取り組み

平成29年8月16日(水)に行われた東北総体監督会議において、「2017年東北総体・えひめ国体に向けて」という演題で堀川哲男スポーツ医・科学委員会委員長からアンチ・ドーピング活動について御説明いただくとともに、ドーピングの今日的な話題についても講話をいただきました。

また、TUE申請の手続きについて説明するとともに、一般医薬品(OTC)による携行医薬品例を紹介しました。



2 アンチ・ドーピング活動のためのリーフレットの作成と配布

アンチ・ドーピング活動のため、今年度内容を再度見直した新しいリーフレットを作成(9,000部)し、東北総体・国体へ出場する選手や関係者、加盟競技団体等へ配布し、アンチ・ドーピング教育・啓発活動に努めました。



3 競技団体との連携

各競技団体へのアンチ・ドーピング啓発活動として、強化合宿の際に「アンチ・ドーピング講習会」を通年で実施し「うっかりドーピング」の未然防止対策を行いました。また、平成29年度より3年計画で全競技完全実施を目指し、まだ1度も実施していない競技団体に対し、実施を呼びかけました。

平成29年度に実施した団体は、カヌー、卓球、フェンシング、銃剣道、自転車競技(右写真)、ゴルフ、トライアスロン、陸上競技の8団体でした。



今後の対応策

- 各競技団体からアンチ・ドーピング啓発活動の報告の義務化
- 大会等のプログラム等にアンチ・ドーピング啓発活動内容を掲載
- スポーツファーマシストが在籍する薬局をマップ化し、体育協会HPへ掲載
- AT養成講習会にアンチ・ドーピングの内容の追加

来年度は、より一層アンチ・ドーピング啓発活動の強化を図っていきます。

インフォメーション

都道府県スポーツ指導者研修会のお知らせ

この研修会は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者の資格更新のための義務研修となります。ただし、水泳、サッカー、テニス、バドミントン、剣道、空手道、バウンドテニス、エアロビクス(上級コーチのみ)、チアリーディング(コーチのみ)、スクーバダイビング、スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士、クラブマネージャー、プロゴルフ(教師・上級教師)、プロテニス、プロスキーの資格者については、別に定められた条件を満たさなければ資格を更新できません。テニスの指導者は1ポイントの実績になります。(平成29年4月1日現在)

※平成30年度は、いわきブロック、県中ブロック、全県ブロックの3回を予定しています。

公益財団法人福島県体育協会 Fukushima Sports Association

福島県体育協会のホームページは、4月にリニューアルします。県民の皆様へ新しい情報を提供してまいります。

<https://www.sports-fukushima.or.jp>

E-mail: info@sports-fukushima.or.jp

(公財)福島県体育協会 〒960-8065 福島市杉妻町5番75号
福島県庁東分庁舎3号館

うつくしま広域スポーツセンター

第2回 フォローアップセミナー

平成29年11月26日(日)、福島市男女共同参画センター「ウィズ・もとまち」で、平成29年度総合型地域スポーツクラブ第2回フォローアップセミナーを開催しました。県内各地から、総合型スポーツクラブに携わる18名の参加があり、講師の先生の話に熱心に耳を傾けていました。

今回のセミナーは『ふくしまの総合型クラブの未来』をテーマにしており、社会の仕組みとして地域になくはないクラブのあり方について、笹川スポーツ財団主任研究員の澁谷茂樹氏に基調講演をしていただき、その後、グループワークを通してテーマについて深く考えることができました。

実施後のアンケートには「いろいろな方策が聞けてよかった」「先生の話に同感する部分が大変多くあった」等の感想が聞かれ、受講された方々にとって有意義な研修となったようです。今後のクラブ運営に大いに役立つセミナーとなりました。内容は以下のとおりです。

セミナー
I

「これからの総合型地域スポーツクラブへ期待すること」

講師 笹川スポーツ財団主任研究員 澁谷 茂樹氏



総合型クラブの現状、課題、成果、今後について、最新データをもとに分かりやすく説明いただきました。登録認証制度、中間支援組織など国の施策についても解説していただきました。

総合型クラブだからできることについて紹介や提案をしていただき、公益的なクラブ、皆で支えるクラブを目指してもらいたいと話されました。

セミナー
II「地域になくはない総合型地域スポーツクラブを目指して」
(グループワーク)

各班に分かれ、テーマに沿って話し合いをしました。話し合いの中で、各クラブの状況等について情報交換も行っていました。

グループワークでも、澁谷先生に参加していただき、個別にアドバイスをしてもらいました。

只見町の自然豊かな山の中に、まるでスイスのような景観が広がっています。

特定非営利活動法人ただみコミュニティクラブ



亀岡サンドバレーコート

特定非営利活動法人ただみコミュニティクラブは、広く地域住民を対象として、文化、スポーツレクリエーション活動を通じ、スポーツの振興、健康増進、地域コミュニティの構築、豊かな高齢化社会の創造及び青少年の健全育成に関わる事業を展開し、健康で豊かな社会の実現に寄与することを目的としながら平成20年から活動しております。

特に、『ただみ健やか発育・発達支援事業☆さんさんキッズプロジェクト☆』事業は、行政・企業・地域住民・クラブの協働による幼児期の体力向上事業として全国に先駆けて昨年度より実施しています。

また、只見町スポーツパーク構想の取り組みとして、地方創生事業の一環でビーチコートが設置され、クラブ事業としてもビーチバレーコートを利用したイベントや雪上イベントに力を注いでいます。

これからも地域の関係団体および県内外の総合型クラブとの協力と、多くの方々とのつながりを大切に健康増進事業やスポーツ交流事業を多世代・他地域へ発信していくと共に、すべての人々が夢や目標を持ちながら、いきいきと活動できるスポーツ環境の整備と地域活性化に取り組んでいきます。



問合せ

特定非営利活動法人ただみコミュニティクラブ事務局

〒968-0601 福島県南会津郡只見町小林字下前田412
<http://www.tadami-cc.com/> E-mail info@tadami.info

TEL 0241-86-2671 FAX 0241-86-2587



NPO 法人ただみコミュニティクラブ



(公財)福島県体育協会賛助会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

法人・団体 特別会員

会津商工信用組合 会津漆器調製(株) (株)アラジン (株)いちい いわき信用組合 エクセルツリー(株) (株)エフエム福島 (株)岡部 (株)オノヤスポーツ 加藤建材工業(株) (有)カネチョウ坂本商店 (株)環境分析研究所 (株)久野製作所 クリナップ(株)いわき事業所 クリヤマ(株)仙台営業所 (株)グリーンテック (株)グレイス福島 (医)須賀川セントラル眼科	住友ゴム工業(株)白河工場 (公財)仁泉会 (株)セントラル住設 (福)創世福祉事業団 相双五城信用組合 相馬共同火力発電(株) 相馬秩父生コン(株) (株)大東銀行 (株)ダイユーエイト (一財)竹田健康財団 (株)テレビユー福島 東亜道路工業(株)福島営業所 東京海上日動あんしん生命(株) 東京海上日動火災保険(株) (株)東邦カード (株)東邦銀行 (株)東邦クレジットサービス 東邦情報システム(株)	東邦信用保証(株) 東邦土地建物(株) 東邦ビル(株) 東邦リース(株) 東北建設(株) (株)トヨクレンタリース福島 中村土木(株) 日本全業工業(株) 日本中央競馬会福島競馬場 (株)二丸屋山口商店 (株)ハニーズホールディングス (株)福島銀行 福島県議会スポーツ振興議員連盟 福島県ゴルフ連盟 福島県商工信用組合 福島県信用保証協会 福島県旅館ホテル生活衛生同業組合 福島商事(株)	(株)福島中央テレビ 福島テレビ(株) 福島トヨタ自動車(株) (株)福島放送 (一財)ふくしま未来研究会 福島民報社 福島民友新聞社 福島リコピー販売(株) 福浜大一建設(株) 公立藤田総合病院 (株)マルト (株)モリヨシ技研 山木工業(株) (株)ヨークペニマル (株)ラジオ福島 若松測量設計(株) (株)渡辺組 ※他に匿名希望 2法人・団体
--	--	--	--

法人・団体 会員

(株)会津技研 (株)アクセラ (株)アスク (有)吾妻印刷 (株)アプロガス あんしんFPふぉあさいと (株)安藤組 入三機材(株) 磐城通運(株) (株)ウエディングエルティ 内地醸造(株) (株)エアコレクト (株)海老名建設 FSGカレッジリーグ (株)エムケーテック (有)エンドースクリーン (有)大波商店 (一財)大原記念財団 小名浜製錬(株)小名浜製錬所 (有)おりおり (株)加地和組 菅野建設(株) (株)キスキ (株)絹川建設工業 キョウワセキュリオン(株) キング印刷(株)	(株)グラコム (株)クラロン (株)クレハ (株)クレハ環境 クレハ錦建設(株) (株)幸楽苑ホールディングス 小勝左官工業(株) (株)佐藤商事 (株)佐藤信博建築設計事務所 (有)佐平 (株)サンライト 庄司建設工業(株) スポーツメンタルトレーニング 関場建設(株) (株)セルラー電話サービス福島 (株)善邦 第一温調工業(株) 大宝建設(株) 大邦産業(株) (株)高橋建設 タカラ印刷(株) 月電工業(株) 月電ソフトウェア(株) 東栄物産(株) 東信建設(株) 東北索道協会福島地区部会	(株)東北装美 東北電力(株)福島営業所 (株)中里工務店 にいどの運送(有) 西会津工業会 (株)日産サティオ福島 日産プリンス福島販売(株) (株)NIPPO福島統括事業所 野田陸上クラブスポーツ少年団 (有)野地建設 原町港湾運送(株) 東日本テクノレッジ(株) (有)挽野自動車 (株)ファミリーケア 福島県剣道連盟 福島県信用金庫協会 福島県ダンススポーツ連盟 福島県バウンドテニス協会 福島県南土建工業(株) (有)フクシマススポーツランド (株)福島製作所 福島日産自動車(株) 福島訪問歯科医院 福島ヤクルト販売(株) ふくしま陸上スポーツ少年団 (株)福南電気	(株)フジゴルフガーデン 富士ゼロックス福島(株) (公財)藤田教育振興会 (株)藤野 (有)古川瓦建材 北斗印刷(株) 堀江工業(株) (株)マルコ物流 (株)丸福織物 (株)丸や運送 みずの内科クリニック (株)三宅新聞店 名鉄観光サービス(株)福島支店 (株)メディアネットワーク (株)本宮会計センター (株)ヤスタ創建 (株)山口工芸 山田建築(株) 山本商事(株) (株)友愛 (株)ルプロジェクト 六陽印刷(株) ワイザーエル(株) ワタナベカーベット(株) ※他に匿名希望 6法人・団体
--	--	--	---

個人 特別会員

老 岐 ひろみ 須 佐 喜 夫 御代田 公 男 宗 形 守 敏 山 本 和 子 菊 池 信 太 郎

個人 会員

阿 部 正 美 安 藤 喜 勝 五十嵐 義 砂子田 敦 博 石 田 隆 洵 伊 藤 隆 司 綿 沼 秀 雄 遠 藤 均 太 田 豊 秋	尾 形 幸 男 片 平 俊 夫 菅 野 日出喜 北 村 孝 男 木 村 喜 八 郎 国 井 裕 一 小 松 信 之 小 山 太 郎	齋 藤 久 男 坂 本 孝 夫 佐久間 弘 弘 櫻 井 和 朋 佐 藤 十 次 佐 藤 傳 一 佐 藤 記 男 佐 藤 とも子 佐 藤 弘 樹	佐 藤 昌 志 穴 戸 正 幸 篠 野 照 夫 下 山 田 好 宏 鈴 木 浩 一 鈴 木 千 賀 子 鈴 木 義 祐 高 倉 好 博	富 田 孝 志 永 井 祥 一 永 井 隆 太 郎 長 岐 博 典 中 島 茂 典 新 井 田 大 明 花 井 宣 紀 花 安 紀 夫 平 石 家 治	廣 瀬 敬 彦 深 谷 秀 三 福 本 隆 隆 星 香 里 星 本 文 堀 田 満 堀 川 哲 男 松 井 遼 一 郎 松 本 裕 治	水 戸 眞 由 子 戸 崎 俊 夫 森 崎 勝 志 米 沢 修 志 結 城 修 志 渡 邊 正 仁 渡 辺 正 吉 ※他に匿名希望3名
---	--	---	--	---	---	--

(平成29年4月～平成30年3月) (敬称略)

賛助会員加入のお願い

本協会では、県民の皆様からの御支援により本県スポーツの推進を目的とする事業に御賛同いただける賛助会員の募集を年間を通して行っております。
皆様におかれましては、趣旨を御理解のうえ、賛助会員として御入会いただき、本県スポーツの推進の一層の御支援を賜りますようお願いいたします。

賛助会費 (年会費)

- 個人賛助会員
1口 10,000円(1口以上何口でも可)
- 法人・団体賛助会員
1口 10,000円(1口以上何口でも可)
※個人会員は3口以上、法人・団体会員は5口以上で特別会員となります。

詳しくは、本協会ホームページをご覧ください。

編集後記

第73回国民体育大会がスタートし、スケート競技では少年女子2000mRで過去最高の5位入賞、成年男子1000m渡邊選手が3位入賞、スキー競技では成年男子Cクロスカンチーで金丸富男選手が4位入賞を果たすなど活躍しました。

また、2月には平昌オリンピック、3月には平昌パラリンピックが開催され、福島県ゆかりの選手の健闘が光りました。

今後は、広く県民にスポーツ情報の提供を行い、県民のスポーツ活動の啓発に努めるために、4月からは、ホームページを今までより、見やすい、親しみやすいものにリニューアルします。引き続き本協会事業及び賛助会に対する皆様からの温かい御支援、御協力を賜りますようお願いいたします。

問合せ

公益財団法人 福島県体育協会 電話024(521)7896
〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 FAX024(521)7971

スポーツ安全保険[®]

対象となる事故

団体活動中の事故/往復中の事故



保険期間

平成30年4月1日午前0時から
平成31年3月31日午後12時まで

加入区分・掛金・補償額

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	事故の日からその日を 含めて180日以内			
						入院日額 (1日目から/ 180日限度)	通院日額 (1日目から/ 30日限度)		
子ども (中学生 以下) ※特別支 援学校 高等部 の生徒 を含む	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人1億円)	突然死 (急性心不全 脳内出血 など)
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段:団体活動中およびその往復中の補償額 下段:上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円 熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒の 場合、保険金額はA1区分と同様	3,150万円	5,000円	2,000円	対人・対物賠償 合算1事故 5億 500万円 (ただし、対人賠償は 1人1億500万円)	葬祭費用 180万円
				100万円 熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒は 対象となりません。	150万円	1,000円	500円	対人・対物賠償 合算1事故 500万円	対象外
大人 (高校生 以上)	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判	C 64歳以下	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人1億円) ⚠️自動車事故に よって賠償責任 を負った場合は、 補償の対象とな りません。	突然死 (急性心不全 脳内出血 など) 葬祭費用 180万円
	※右記年齢の判断は、「平成30年4月1日」と「掛金の支払い手続きを行う日」のいずれか遅い日の年齢を基準とします。	B 65歳以上	1,200円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団員への送迎 ※スポーツ活動を行う場合は対象となりません。	A2 A2区分は 65歳以上 の方も加入 できます。	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
全年齢	危険度の高いスポーツ	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。

公益財団法人 **スポーツ安全協会 福島県支部** 〒960-8065 福島市杉妻町5-75
福島県庁東分庁舎3号館



TEL **024-526-4600** 電話受付時間 午前9時~12時 午後1時~5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳細内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。
※インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全保険

この広告はスポーツ安全保険の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社
担当課 公務第2部 文教公務室
TEL 03-3515-4346(平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(平成30年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜
大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保